



第107号 **ふれあいの里**

〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者: 鉄村 信治

編集: ふれあいの里広報委員会

CONTENTS

- 1頁・地域包括ケアシステムにおける
介護老人保健施設の役割
- 2頁・エバーライフ加島 施設紹介
・二階堂高等学校インターンシップ開始!
- 3頁・都南地区グループホーム合同交流会
・バス時刻表改訂のお知らせ
- 4頁・第25回 ふれあい祭り

<http://www.fureai-net.com/>

地域包括ケアシステム構築に向けて介護老人保健施設の在宅復帰強化



介護老人保健施設
ならふくじゅ荘 事務長 **福西 康夫**

平成27年度介護報酬改定後、早いもので3カ月が経過しました。報酬改定内容については周知の通りで、過去の報酬改定においても『地域包括ケアシステムの構築』には触れられていましたが、今回の改定については団塊の世代が全て75歳になる2025年に向け『地域包括ケアシステム』をより現実的なものにするため本腰を入れた改定となり、老健施設においても従来型老健で稼働率重視の運営では施設経営が成り立たないのではないかと感じております。

また、『地域包括ケアシステムの構築』は在宅生活の限界を高めるという意味合いも含まれており、在宅復帰・在宅支援を役割に持つ老健施設にとっては打ってつけのシステムであるとも感じています。

さて、現在、ならふくじゅ荘は在宅強化型老健として運営していますが、思いおこせば約1年半前『平成26年度診療報酬改定』の骨子が始まった頃、医療の分野でも在宅復帰率が問われることとなりました。同時に、介護保険施設である老健も元々の役割・理念である『在宅復帰施設』がより顕著に平成27年度介護報酬改定に評価されると感じました。

それをきっかけとして在宅復帰強化への道程がスタートしました。最初に、実際に在宅復帰に力を入れている老健施設と自施設の違いを整理するため見学に伺いましたところ相違点としては、

- ①家族が参加するカンファレンスの開催数や家族面談の回数が少ない。
 - ②セラピスト等による自宅訪問が極端に少ない。
- ことが解りました。

そこで、何度も関係部署や各部署責任者とも打ち合わせを重ね、見学結果を踏まえ入所者の入所経緯の洗い出し、入所者・家族の思いや、在宅に戻れない課題や理由を再整理し、現場職員と在宅復帰可能な利用者とそうでない利用者を選別し情報共有を図り、入所者・家族への支援を実施、平成26年12月末には在宅復帰率30%を達成することができ、平成27年1月〜『在宅復帰・在宅療養支援機能加算』を算定、平成27年4月には、皆の協力の甲斐があり、晴れて在宅復帰率50%である在宅強化型老健へと変貌を

遂げました。

ただ、在宅復帰強化への取り組みは、想像以上に大変な作業であったことが記憶に残っています。全職員に対し組織の方針転換や『なぜ今在宅復帰が求められているのか?』等々勉強会を開催し繰り返し同じことを伝えていくことに多くの時間を要しました。つまり、どんな事にでも共通して言えることですが、新たな仕組み作りをするということは今までのやり方や考え方を根本から変える必要があります。幹部職員だけや中心職種となる医師・相談員・施設ケアマネ・セラピストだけが在宅復帰のための作業をしていても、利用者に接する現場からの理解を得ないと全く機能しません。施設全体としての取り組みであるが故に、職員全員が在宅復帰に向け真摯に取り組む必要がありました。

在宅強化型老健になり3カ月が経過しました。まだ手探り状態です。仕組みや流れの確立はできましたが、在宅復帰率50%を維持する一方で、稼働率が低下することが課題として残ります。その為には、施設のセールスポイントは何であるかを見直し・見出し、毎月の渉外活動に生かす必要があると考えられます。また、数字だけを重要視した内容にならないようにサービスの質の向上を目指し、利用者様・家族様が笑顔で安心して満足して在宅復帰できるように支援するべく、現場管理者、職員との意見交換を密に図りながら本来の介護老人保健施設としての役割を全うしたいと思います。



健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

エバーライフ加島 施設紹介

エバーライフ加島、館長の牧野です。エバーライフ加島は介護付き有料老人ホームとして平成23年12月にオープンし、現在で3年半が経過しようとしています。まだまだ新しい施設ですので、ご見学に来られる方からも「きれいな施設ですね」との声をたくさんいただいております。

まず、エントランスを入った時に目に入るのが受付カウンター上の大きな花飾りと奥の応接ルームです。入居者様の面会の際、お部屋でのお話より、応接室の方がゆったりとお話を楽しむことができます。

入居者様の行事についても、月ごとの行事や、週替わりのボランティアのみなさんも入って下さり、にぎやかにしております。習字やお花、お茶会など色々あります。月ごとでは、その季節に応じたイベントを職員で検討し、皆様楽しんでいただけるように努力しております。

男女問わず人気のある「お花」ですが、「60の手習いならぬ80の手習いやなあ」と和気藹々と楽しめる女性陣に対して、男性陣の表情は真剣そのもの。和やかな時間が流れた後は、皆様ご自分の作品をお部屋に飾られています。



また、今月はフラダンスのボランティアのみなさんが来てくださいました。今まであまりなじみのなかったフラダンスにも、いざ講演が始まると皆様興味深く見ておられました。

施設としてはまだまだ歴史の浅い新しい施設ですので、これからも入居者様に楽しい生活を送っていただけるよう、いろいろなことにチャレンジしていこうと職員一同頑張っております。

最後に私の人生の教訓となった坂本龍馬の詠草を紹介させていただきます。

「丸くとも 一かどあれや人心 あまりまるきは ころびやすきぞ」

温厚で円満な人格もいいが、どこかで毅然としているところが無いといけないということです。この言葉をもとに日々業務に取り組んでおります。

(エバーライフ加島 館長 牧野 和志)

二階堂高等学校インターンシップ開始!

平成26年5月、奈良県立二階堂高等学校とふれあいの里とで、キャリア教育の推進や医療福祉現場の人材確保を目指し締結したインターンシップ協定が本年度よりキャリアデザイン科1年生200名の受け入れという形で本格的にスタートしました。

昨年、試行を兼ねて行った、希望者を対象としたインターンシップでは、生徒達の明らかに成長した姿を目にし、このインターンシップの意義、重要さを改めて実感しました。

事前講義は、前回講師を務めた脇元介護福祉士(ケアハウスふる里 介護職員)にまたお願いしたいとの要望があり、体育館にて学生200名を対象に行いました。注意事項や会社の理念、社会人として、また医療福祉に従事する職員としての心構えなどの話、そして脇元介護福祉士の介護の仕事を通じて感動した体験談には、とても関心を示し興味深く聞きっていました。

そしてよいよ6月1日、インターンシップが始まりました。バスが到着し、学生達が降りてきた時は元気いっぱい遠足にでも来たかのような様子でしたが、友達と分かれ、各施設の実習担当者へ送り出す頃には、緊張した表情に変わっていました。そして、実習担当者の話を熱心に聞き、実習に取り組んでいる姿はとてまたくましく見えました。



ある学生より『介護職もいいかも』という声がありました。私共、福祉施設、更に国としても介護士不足の問題を抱えている中、介護の仕事がやりがいのある仕事だと身をもって感じてもらったこと、今回のインターンシップにとっても意味深いものを感じます。

秋に行う2回目は、介護職以外の職種も増やし、希望の職種に就いてもらいます。医療福祉関係を含め、いろいろな職業を知り、また社会を体験することで、自分の将来のキャリアデザインを考える良い機会になればと思っています。何か一つでも学んで帰ってほしいという共通の想いで、職員一同一丸となって学生の受け入れを行っていききたいと思います。

(本部総務課 主任 柿本 祥子)

都南地区グループホーム合同交流会

グループホームふれあい東九条とグループホームなら清寿苑は都南地域包括支援センター管内に施設があり、地域活動の一環として、年に2回管内にある、グループホーム花木水、グループホーム杏の4つのグループホームの入居者様との交流会を開催しています。昨年より別の包括支援センター管内ですが以前から交流のあったグループホーム雪月花も加わり、参加入居者様合計46名の大きな会になりました。

今回は、奈良市東人権文化センターをお借りして、昼食会、各ホームによる演芸披露、皆さん一緒に出来るレクリエーションを行いました。

お昼前にそれぞれ集合します。席についたらまずは昼食タイム。お弁当を皆さんで召し上がっていただきました。外での食事は雰囲気が違う事が加味され、食事がさらに美味しく感じるようで、食事中に「美味しいね」などと会話が弾み、さらにもよりにたくさん召し上がる方もいらっしゃいました。

各施設の演芸披露では、合唱を披露するグループホーム、楽器演奏を披露するグループホーム、炭坑節を披露し、職員だけでなく、入居者様も立ち上がって一緒に踊る場面も見られ、盛り上がりました。

皆さんでできるレクリエーションでは、しりとりを全員で行いました。皆さん一生懸命考えて、最後まで止まらず完成しました。また、イントロクイズでは、なじみの曲が流れると、多くの方より答えが聞かれ、その後は皆さん一緒に歌うという場面

が繰り返されました。懐かしい歌や唱歌はどのグループホームも日頃から盛り上がるレクリエーションで施設が違えども好まれる曲は皆さん一緒に、昔にヒットした曲は誰もが知っていて口ずさめ、知らない人同士でも一つになれるのだなと実感しました。

最後におやつのおまんじゅうを食べて交流会は無事終了しました。入居者のみなさんに楽しんでいただき、たくさんの笑顔を見ることができました。

この交流会は平成23年から行っており、回を重ね6回目になりました。初期の頃は、知らない人が大勢集まっていることに緊張してそれぞれのグループホームごとにかたまっていたように思いましたが、今回別のグループホームの入居者様が会話をしている場面が様々なところで見る事ができ、少しずつではありますが、他施設間の交流が広がり始めた事を感じました。

次回は秋に予定をしています。皆さんが楽しんで、そしてまた笑顔がたくさん見る事が出来るよう企画したいと思います。今後は都南地区に限らずに参加して頂けるよう活動を広げていくことが出来たらとも考えています。

(グループホームなら清寿苑 主任 柴田 佳代子)



ふれあいの里送迎バス

～奈良方面～

奈良東病院および周辺施設へお越しの場合

JR奈良駅・近鉄奈良駅方面から

	JR奈良駅	近鉄奈良駅	蓮之庄	系統
奈良交通バス	8:13	8:17	8:34	天理駅
病院バス	9:25	9:30	9:43	
病院バス	10:25	10:30	10:43	
病院バス	11:25	11:30	11:43	
病院バス	12:25	12:30	12:43	
病院バス	13:45	13:50	14:03	
病院バス	14:45	14:50	15:03	
病院バス	15:45	15:50	16:03	
病院バス	16:45	16:50	17:03	
病院バス	19:36	19:40	19:50	

	JR奈良駅	近鉄奈良駅	蓮之庄	系統
奈良交通バス	8:13	8:17	8:34	天理駅
病院バス	9:25	9:30	9:43	
病院バス	10:25	10:30	10:43	
病院バス	12:25	12:30	12:43	
病院バス	13:45	13:50	14:03	
病院バス	15:45	15:50	16:03	
病院バス	16:45	16:50	17:03	
病院バス	18:10	18:15	18:28	
病院バス	19:36	19:40	19:50	

奈良方面のりば案内

	JR奈良駅	近鉄奈良駅前	奈良東病院
奈良交通バス(430円)	東口1番のりば	3番のりば	ならふくじゅ荘前バスロータリー
病院バス(無料)	東口ロータリー 一般車乗降場	中小企業会館前	病院玄関入口横

奈良方面へお帰りの場合

近鉄奈良駅・JR奈良駅方面へ

	奈良東病院	系統
病院バス	9:00	
病院バス	10:00	
病院バス	11:00	
病院バス	12:00	
病院バス	13:20	
病院バス	14:20	
病院バス	15:20	
病院バス	16:20	
奈良交通バス	17:24	192 JR奈良駅西口
病院バス	19:15	

	奈良東病院	系統
病院バス	9:00	
病院バス	10:00	
病院バス	12:00	
病院バス	13:20	
病院バス	15:20	
病院バス	16:20	
奈良交通バス	17:12	182 JR奈良駅西口
病院バス	17:45	
病院バス	19:15	

～天理方面～

奈良東病院および周辺施設へお越しの場合

天理駅方面から

	天理駅	樺本	系統
病院バス	8:25		天理駅
病院バス	9:35		
病院バス	10:35		
病院バス	12:35		
病院バス	13:35		
病院バス	14:35		
病院バス	15:35		
病院バス	16:35		
奈良交通バス	17:00	17:15	192 JR奈良駅西口
病院バス	17:35		
病院バス	18:35		

土曜日	天理駅	樺本	系統
奈良交通バス	16:52	17:03	182 JR奈良駅西口

天理方面へお帰りの場合

天理駅方面へ

	奈良東病院	系統
病院バス	8:10	
奈良交通バス	8:39	天理駅
病院バス	9:20	
病院バス	10:20	
病院バス	12:20	
病院バス	13:20	
病院バス	14:20	
病院バス	15:20	
病院バス	16:20	
病院バス	17:20	
病院バス	18:20	

土曜日	奈良東病院	系統
奈良交通バス	8:39	天理駅

※天理駅便の病院バスは平日(月～金)のみ運行。
土・日・祝・年末年始(12/30～1/3)は運行いたしません。ご注意ください。
※交通事情により遅れる場合がございます。
※お問い合わせは奈良東病院(0743)-65-1771まで。

天理方面のりば案内

	天理駅	奈良東病院
奈良交通バス(390円)	3番のりば	ならふくじゅ荘前バスロータリー
病院バス(無料)	送迎バス発着所(Cのりば)	病院玄関入口横

奈良市コミュニティバス 運行ダイヤ

奈良東病院～南福祉センター 乗降場所・停留所(バス停)

発	奈良東病院	9:49発	発	奈良東病院	13:59発	発	奈良東病院	17:54発
着	南福祉センター	9:58着(終点)	着	南福祉センター	14:08着(終点)	着	南福祉センター	18:03着(終点)

奈良東病院～米谷町 乗降場所・停留所(バス停)

発	奈良東病院	9:09発	発	奈良東病院	13:17発	発	奈良東病院	17:29発	発	奈良東病院	18:55発
着	米谷町	9:23着(終点)	着	米谷町	13:32着(終点)	着	米谷町	17:44着(終点)	着	米谷町	19:09着(終点)

編集後記

梅雨の時期となり、ぐずついた毎日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日に日に気温・湿度も高くなり、蒸し暑く、徐々に真夏が近づきつつあります。

さて、今年はどうな夏になるのでしょうか。気温は30度超え、さらには35度を超え、このような夏が最近では常態化しているように思われます。地球の温暖化現象が問題となり久しくなります。気温が35度を超えると「猛暑日」という言葉が用いられますが、この「猛暑日」という言葉、いつから使われ始めたのかご存じでしょうか。調べてみると2007年以降に使われ始めたそうです。逆に考えますと、それまでは35度を超える日というのはあまり無かったということになります。今では当たり前のように用いられているということは、ここ数年だけでみても地球の温暖化が急速に進んでいると考えられるのではないのでしょうか。

話が大きくなってしまいました。ふれあいの里では今年も夏の風物詩『ふれあい祭り』を8月22日(土)に開催いたします。猛暑が予想されますが、様々なイベント、模擬店をご用意しておりますので、皆様お誘い合わせの上、お越しください。

職員一同、皆様のご来場をお待ちしております。

(広報委員長 橋本 重之)



第25回 奈良東病院グループ ふれあい祭り

2015 8.22(土) 13:30~20:00頃 ※雨天決行(盆踊り等屋外行事のみ中止) プログラムの詳細は裏面をご覧ください

恒例となりました奈良東病院グループの夏祭り「ふれあい祭り」今年も8月22日(土)に開催いたします! 地域の方、患者様、利用者様、そのご家族様、皆様に楽しんでいただけるよう各種イベントや、お楽しみ抽選会、模擬店に盆踊りなど多彩なプログラムを準備して、皆様のお越しを心よりお待ちしております。(第25回ふれあい祭り実行委員会)



昨年ご協力いただいた皆様からの感想、お便りをご紹介します!

琉球國祭り太鼓 奈良支部(踊り)

毎年お呼び頂き、大変嬉しく思っております。平成25年の夏祭りは雨が降ったことで一曲しか踊ることができませんでした。雨という大変な状況の中でしたがメンバー一同精一杯踊らせていただきました。少しでもみなさんに楽しんで頂けたら自分たちも幸いです。獅子を出す予定でしたが、雨のせいで出せなくて大変申し訳なかったです。次回こそはと思いますので、ぜひ、またよろしくお願ひします!!



天娘盛(踊り)

いつもお呼ばれありがとうございます。総踊りでは来場者の皆様や、職員の方々が盛り上がりをもって、こちらとしては助かりました。ライン取りがうまくいかず、列がぐちゃぐちゃになり、きれいに踊れなかったため、こちらは次回の課題です。



チームHappiness真美(ダンス)

本年も大人数で参加させて頂きまして、ありがとうございました。いつも、練習・更衣スペースを確保して頂き、飲み物のご準備も頂き参加者一同楽しく踊らせていただくことができ感謝の気持ちでいっぱいです。暑い中たくさんのご声援もありたいです。来場者の皆様四方八方におられるので、どちらを向いて踊らせて頂けば良いのかいつも迷うところです。来年もよろしくお願ひいたします。



近畿社会福祉専門学校(ヨーヨー釣り)

子どもから高齢者の方まで、いろんな方が来られて楽しんでいただいている姿を見て、「人を楽しませるって良いことだなあ」ということを学びました。人の笑顔を見ることで自分まで笑顔になれる、それが良かったです。去年も参加させてもらいましたが、去年は去年、今年は今年、と年を経るごとに楽しさが増えていきました。このふれあい祭りに参加して、「人との接し方」、「周りとの協力し合う大切さ」を学ばせていただきました。

